

シンポジウム

(要旨は本誌参照)

(午後三時四五分―五時一五分)

「年少児保育の諸問題」

司会者 山下俊郎

提案者 西本美節・長屋サト・鈴木とく

大西憲明・平井信義・小川正通

閉会の辞 (午後五時一五分)

副会長 小川正通

この大会の来会者は、延一、七〇〇名(内正会員五〇〇名・新入会員八〇名・準会員八二〇名・学生会員三〇〇名)で、沖繩をはじめ全国各地から参集され、極めて盛会裡に、予定通りの行事を無事終了した。

本大会は、斎藤一也準備委員長、小川正通副会長、大西憲明・小西勝一郎・西本脩の各委員、大阪樟蔭女子大学付属幼稚園の田中千鶴子、大阪樟蔭女子大学児童学研究室の助手梅田晴美・清水俱子らが、主としてその準備・運営にあたり、大阪樟蔭女子大学児童学卒業生・在学生、同大学職員、同大学付属幼稚園職員・母の会会員、大阪市立大学家政学部児童学科学生ら計一二〇名がこれに協力された。これらの方々に感謝の意を表します。なお、本大会の開催にあたっては、学校法人樟蔭学園のほか、つぎの各社・各校より御

援助をいただいた。記して厚く謝意を表したい。

学習研究社、関西女学院、近畿日本鉄道、講談社、寿屋、桜商会、誠信書房、武田薬品工業、チャイルド本社、常磐会幼稚園教員養成所、東芝商事、東京心理K・K、中村朝日堂印刷所、浪速短期大学、奈良保育学院、日本楽器、日本生命本社、ハリスK・K、ひかりのくに昭和出版、フレール館、ベターホームプロダクツ、保育の友、三菱レイヨン、湊学院、箕面保育専門学校、森永乳業、雪印乳業、ライオン歯磨、黎明書房

(五〇音順)

(付記)

本大会が両日とも幸い天候にめぐまれたことは、何よりも大きな喜びであった。

なお、この機会に数日前帰国された厚生省副島ハマ委員が苦心して蒐集された珍しい諸外国の幼児玩具を各種展示され、来会者にゆきとどいた説明のあったことは、思いがけない収穫であった。

また、「御意見箱」には各種の貴重な示唆があつて、今後の大会運営に資するところが大きかった。

幼児の教育 第五十九巻 第九号

九月号 © 定価五〇円

昭和三十五年八月二十五日 印刷

昭和三十五年九月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社フレールベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレールベル館にお願いいたします。